

# 本計画の考え方

# 本計画の目指す姿と構成

## 計画書の目指す姿

## みどりによって持続的に発展するまち・浜松 みどり生活を愉しみ、暮らしもまちも豊かな浜松へ

- 本市は、平成 17 年の市町村合併により、旧浜松市を中心とした都市部や天竜の森林<sup>(注)</sup>などの多彩な地域を内包する新しい都市としてスタートしました。平成 22 年 3 月には、計画の目標を『みどり<sup>(注)</sup>生活を愉しむ<sup>(注)</sup>まち・浜松』とする「浜松市緑の基本計画 2010-2020」（以下、「前計画」という。）を策定し、みどりを介した様々な市民活動やみどりとともにある暮らし方（みどり生活）を愉しむことで真に豊かな暮らしを実現すること、合併によってもたらされた多様な自然環境や特性を活かしながら、みどりが持つ多様な機能によって本市が抱える課題の解決に貢献することを目指してきました。
- 本計画では、前計画で目指してきた「みどり生活を愉しむ」、「みどりによってまちづくりの課題の解決に貢献する」という 2 つの考え方を踏襲し、『みどりによって持続的に発展するまち・浜松 みどり生活を愉しみ、暮らしもまちも豊かな浜松へ』を目指す姿とします。
- 目指す姿の実現にあたっては、2 つのアプローチがあります。1 つは、**市民一人ひとり、あるいは、個々の事業者が、みどりとのつきあい方をライフスタイルや事業活動にまで高めることで「みどり生活を愉しむ」（プライベートアプローチ）**ということです。もう 1 つは、**みどりが有する多様な役割・機能を最大限引き出し、発揮させることによって「みどりによってまちづくりの課題の解決に貢献する」（パブリックアプローチ）**ということです。
- ただし、これら 2 つのアプローチはそれぞれ異なるアプローチではありません。例えば、「みどり生活を愉しむ」ことが周りにも広がり、一緒に愉しむ仲間ができたり、新しい愉しみ方が生まれたりすることで、地域やまちに活力が生まれ、「みどりによってまちづくりの課題の解決に貢献する」ことにつながることもあります。また、「みどりによってまちづくりの課題の解決に貢献する」ためにみどりに関するイベントを開催したことで、イベントの企画や運営、みどりによる会場の賑わいづくりやその維持管理自体を、「みどり生活を愉しむ」こととする市民や事業者がでてくることもあります。
- 本計画は、「みどり政策編」「みどり生活編」「推進体制編」の 3 編で構成しています。行政職員だけでなく、市民の皆さんにも本計画を読んでいただき、プライベート／パブリックの両アプローチによって、『みどりによって持続的に発展するまち・浜松 みどり生活を愉しみ、暮らしもまちも豊かな浜松へ』の実現を目指していきます。

## 計画書の構成

- 「みどり政策編」は、本計画のポイントの 1 つである「みどりによってまちづくりの課題を解決する」について、まちづくりの課題解決に向けてみどりとどう向き合っていくのかを示しています。
- 「みどり生活編」は、本計画のもう 1 つのポイントである「みどり生活を愉しむ」とはどのようなことか、どのような愉しみ方があるのかを紹介しています。
- 「推進体制編」は、本計画を着実かつ強力的に推進するための体制や進行管理の考え方について示しています。

(注) 「天竜の森林」：本計画では、「天竜の森林」を天竜区、北区、浜北区に広がる森林を指す総称として使うものとします。  
「みどり」：本計画では、自然的環境を幅広い概念で「みどり」と表現しています。（詳細は 12 頁をご覧ください。）  
「愉しむ」：本計画では、自ら物事に取り組み、その過程と結果から喜びや満足感などを得ることを「愉しむ」と表現します。